



各支部・専門部が新採歓迎集会を開催！

【栄養教職員部】

5月30日、新任栄養教諭歓迎交流会を開催しました。交流会には7人の新採用者が参加し、先輩栄養教職員と交流を深めました。自己紹介の後、分からない事があっても一人職のため相談できず困っていたこと、年度始めの職務は多忙で大変だったが何とか乗り越えたこと、中学校で食育をどう展開していけば良いのかなど職務上の真剣な話やプライベートでの楽しい話もあり、とても話が弾みました。今回、新たに加入した人を含め、新規採用者の半数が組合員となりました。引き続き、組織拡大に向けて活動をすすめていきます。



【南部支部】



6月6日、南部支部は「青年部新歓パーティー」を開催しました。各分会の青年層と今年度新採用の方々の交流の場となるように行っている恒例行事です。はじめに南部支部青年部の高嶋さんの乾杯で始まり、学生協、教共済の方にあいさつをいただきました。続いて、歓迎の催しとして新規採用者と各分会にわけて大抽選会を行いました。ここで大いに盛り上がり、話も食事もよりすすみました。

また、分会同士で知り合いを通して会話をする場面も見受けられ、よりよい交流の場となりました。これをきっかけに青年層の活動も広げていきたいです。

【北部支部】

6月18日、北部支部は「新転任者歓迎パーティー」を開催しました。各分会から幅広い年齢層の参加があり、全体で30人を超える参加がありました。食事を交えての歓談のあとに、恒例のビンゴ大会を行い、分会を超えた交流が多数見られました。交流の中で、特別専科教諭として採用された参加者からは、「今、何をすればいいかわからず、これから先が不安」といった声が聞かれました。「困ったことがあれば組合に相談を。学習会などで課題を共有しましょう」と伝え、「今日の会に参加できてよかったです」との言葉をいただきました。



【事務職員部】

事務職員部は、6月20日に難波にて新規採用者歓迎集会を開催しました。当日は、学校事務職員として大阪市に採用された24人中18人の方に参加いただくことができました。また、新規採用者とともに働く同僚組合員や、各関係団体等からも多くの方々に参加いただき、総勢で50人を超える歓迎集会の開催となりました。歓迎集会では、参加者の所属の所在地より東・西・南・北の各地区事務職員部のエリアごとに席を設け、交流を深めるとともに、近隣に多くのなかまがいることの大切さを伝えました。事務職員部は、学校事務職員としてより働きやすい環境づくりと様々な悩みや不安を少しでも和らげ、支えられるように新規採用者全員の市教組加入に向けて取り組みをすすめます。



【西部支部】



6月20日、西部支部は、「ウェルカム・パーティー」を開催しました。当日は各分会から40人を超える参加があり、どのテーブルも楽しく交流することができました。民族講師会からも崔光沢ソンセンニムが参加し、トークで場を和ませていただきました。お楽しみ抽選会では、学生協と近畿労金から賞品が提供され、大菌支部長がくじを引くたびに歓声が上がりました。「日頃、分会で交流することもなかなかできていないので、

こういう機会があつてありがたいです」とは参加者からの声。二人の方がその場で組合加入を決めるなど、大成功の歓迎交流会となりました。

【東部支部】

6月27日に東部支部開催の新転任歓迎会「なかまつり」を開催しました。新任教員をはじめ、事務職員や養護教諭など、年代だけでなく職種の垣根を越えた交流を今年も行うことができました。

執行委員会の企画として、「かぶっちゃやーよ」というアイスブレイクを行いました。このゲームを通じて他分会との交流ができました。また、毎年恒例のビンゴ大会も盛り上がり、参加者の笑顔が見られました。



【事務職員部 初夏ビアガーデンレクリエーション】



事務職員部は、組織強化・拡大と組合員の交流を図る取り組みとして、6月7日に「初夏ビアガーデンレクリエーション」を近鉄百貨店上本町店屋上で開催しました。当日は60人を超える組合員とその家族が参加し、バーベキューをする人やお酒をメインに楽しむ人など、各々が好きな楽しみ方で過ごしていました。当日の開始直後は少し雨模様でしたが、すぐに雨はあがったため、日頃の仕事の疲れ

が癒されるような気持ちのいい風が吹き、様々な世代の組合員とその家族が大阪市内の景色を眺めながら、和気あいあいと交流を深めることができました。今後は、7月に、東・西・南・北の各地区事務職員部で交流行事が予定されています。多くの組合員皆様のご参加をお待ちしております。

【女性部 定期大会】

5月28日、女性部定期大会を開催し、出席代議員の圧倒的多数の賛成により今年度の運動方針案が可決されました。討論には4人の参加がありました。わが子、教え子を再び戦場に送らないためには私たちの取り組みが重要であること、そのためにも各支部の学習会などの取り組みを、支部の枠にこだわらず全市で共有して広くつながり合うこと、子育て世代などの若手が参加しやすい場を作り仲間を増やしていくことの大切さを確認しました。



【栄養教職員部 定期大会】



6月6日、第46回栄養教職員部定期大会が開催されました。藤澤部長から「栄養教職員部に結集し、意見や知恵を出し合い、さまざまな課題を解決していこう。」と挨拶がありました。市教組中松書記長からは、学校給食民間委託業者の問題点など、多くの課題解決に向けた取り組みの必要性についてお話しがありました。

その後、小西事務長から2025年度運動方針の提案があり、4つの支部に分かれて提案について議論を深めました。各支部の報告では、課題のある民間委託業者への対応、また入札の方法について、栄養教職員の業務から離れた仕事を任されること、給食室の施設・設備の老朽化についてなど、さまざまな課題があがり、全員で共有することができました。また、運動方針は全会一致で可決・承認されました。最後に栄養教職員部の結集を確認するため、四條副部長のもと団結ガンバローを行い大会は閉会しました。

【養護教職員部 定期大会】

6月21日、大阪市教育会館（東館）にて第55回養護教職員部定期大会を開催し、各支部から代議員の出席がありました。土曜授業の後や中学校心臓二次検診の後などに駆けつけてくれた代議員もいました。

辻岡部長の挨拶、井上事務長の提案に対し「子育てなどの権利拡充について詳しく聞かせてほしい」と質問があり、市教組の中松書記長が答弁しました。

また討論では、「病休明けの不安な気持ちや困り事、異動の不安に対して組合が親身に聞いてくれ、講師配置についても迅速に動いてくれたことで現在も安心して働くことができている」との意見がありました。採決では、原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認されました。

大会の後に、恒例になっている、日頃の職務などの交流をして参加者で意見交換をしました。最後に少数職種である養護教職員は、横の繋がりを強化し支え合っていくこと、組合に結集してより良く働き続けられるようにと締めくくりました。

【第422回 市教組中央委員会】

6月19日、第422回中央委員会を開催し、多岐にわたる課題や取り組みが議論されました。はじめに三谷執行委員長より、改正給特法成立後の市教組としての取り組み方針が述べられました。討論では、この間の各支部や専門部での定期大会や組織拡大に向けた取り組みの報告、平和教育や多文化共生教育の推進、特別専科教諭にかかわる学習会の取り組みなどが報告されました。執行部提案は圧倒的多数で可決され、今後は要求実現に向けて市教委交渉を行っていきます。



☆広報部メモ☆

盗撮で複数の教員が逮捕されたが、まだ逮捕されていない教員がどこかに潜んでいる。来年度から施行される日本版DBSで、これらの犯罪をどこまで食い止められるだろうか。日本は性教育後進国と言われており、「はどめ規定」により「性」と「生」が引き離されたことが性暴力につながっているとの指摘もある。国際標準の包括的性教育の必要性を日本弁護士連合会も訴えている。安心して生きていける社会になることを強く願う。(り)

☆全市分会代表者会議

◇日時：7月22日（火）18：30～

◇場所：大阪市教育会館東館 401号室

◇内容：給特法改正に伴う「新たな職」

「担任手当」の動向について

対市教委交渉について

今後の取り組みについて

◇各分会1名の参加を

お願いします！

